

生産者組織統合によるイチゴ販売力の強化

あいち海部農協(愛知県)

取組の背景

- あいち海部農協管内には、旧市町村単位等で独立していたイチゴの生産者組織があり、それぞれ独自に集出荷を行っていたが、県下有数の産地でありながら、生産量を活かした販売が出来ていなかった。
- 10数年前から生産組織の統合を望む声があり、平成27年には、販売を統合した共販組織「あまイチゴ連合会」を設立した。



取組の概要

- 生産者の理解を得て、平成28年より愛知県奨励品種「ゆめのか」へ品種を統一。平成29年に産地パワーアップ事業の活用により4か所の集出荷拠点を「JAあいち海部イチゴセンター」へ集約・整備するのに合わせ、組織も「あまイチゴ組合」に改組。農協が事務局となり主に経済連が各市場に配荷する体制を整えた。
- 部会組織の統合と集出荷施設の整備により、大量ロットでの販売や品質の標準化が可能となり、菓子メーカー向けの「ペンシル[※]」等、実需者の要望に応じた規格による出荷が可能となった。また、出荷荷姿を細分化したことにより平均単価が向上し、販売力強化や有利販売つながり所得が向上。
- 保冷庫の整備などによる安定した集出荷体制を確立することで出荷量の調整及びまとまったロットを確保することが可能となり様々な実需者との連携が実現。
- JAあいち海部イチゴセンターの整備により、生産者の出荷に係る労力が軽減され、生産者間の情報共有等による栽培技術向上、品質の安定化、平準化につながっている。

※大手菓子メーカー向けの1パック3~5粒詰めの商品

成果

販売高105%
(H26年比)

項目	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
組織名	4組織	あまイチゴ連合会		あまイチゴ組合		
出荷量(トン)	881	856	905	844	828	811
販売高(百万円)	975	922	1,050	1,040	1,066	1,025
平均単価(円/kg)	1,107	1,111	1,162	1,234	1,288	1,263
生産者数(名)	78	75	71	68	67	67

平均単価114%
(H26年比)